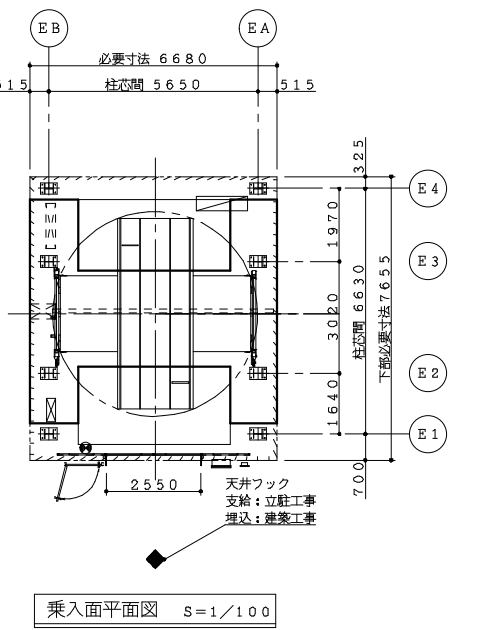
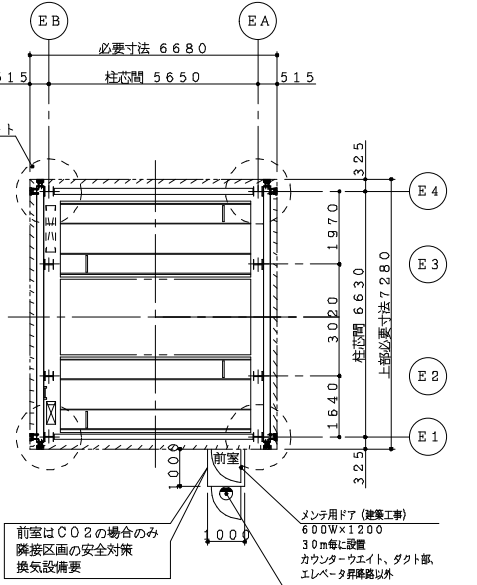
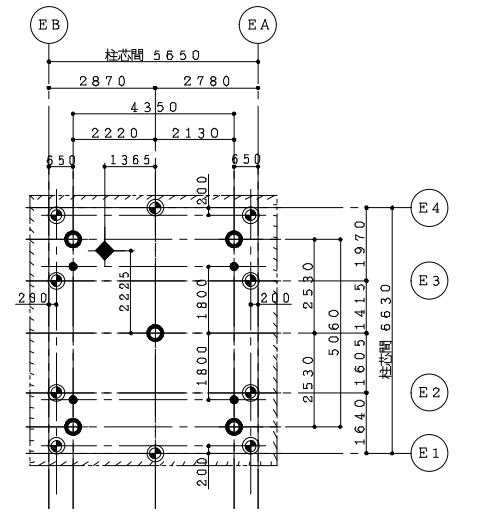
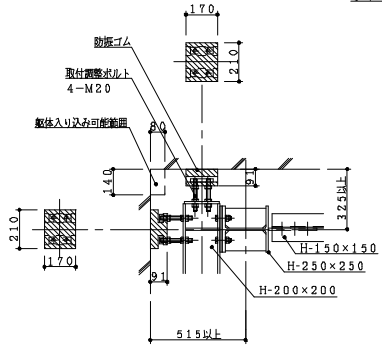


天井フック 凡例

用途	吊重量	数量
駆動部用	30 kN/ヶ所	1ヶ所
鉄骨柱、梁用	10 kN/ヶ所	10ヶ所
ゴンドラ用、荷揚げ用	10 kN/ヶ所	5ヶ所
ライフライン用	10 kN/ヶ所	4ヶ所
乗入階降ろし用 (乗入階図参照)	30 kN/ヶ所	1ヶ所
合計		21ヶ所



**新明和機械式立体駐車装置仕様**

認定番号: 近畿(21)-8  
 名称: 新明和エレベータ  
 型式: ET-EH BK 3  
 ET 4 J X - 5 0 / H 2 2 T 1 - E H B K 3 ( 1 ) × 1  
 収容車種・台数: 普通乗用車5台収容/ハイヤー専用2台収容 合計72台収容  
 3号普通乗用車1台/バリアフリー対応

最大長さ: 5015mm  
 最大幅: 1850mm  
 最大高さ: 1550mm (普通乗用車)  
 2000mm (ハイヤー専用)  
 最大車重: 2000kg (普通乗用車)  
 2500kg (ハイヤー専用)  
 タイヤ外径: 1830mm  
 最低地上高: 90mm  
 ドアミラーは折りたたんで下さい。

乗入方向: 前進入庫、逆進出庫  
 操作方式: 遠隔タッチパネル・ICカード方式  
 主電動機: AC 3φ 200V 37kW 1台/基  
 横送り: 1.1kW × 1台/基  
 電動機: 回転  
 ロッキング: 3.7kW × 1台/基  
 駆動テーブル昇上  
 制御方式: ペトル制御インバータ方式  
 昇降: 120m/min  
 速度: 横送り 40m/min  
 駆動: 5.6rpm  
 照度設備: 室内乗入部 FL-40W × 4 + 保守用  
 消火設備: CO2消火設備  
 三方弁: 運転経路形状三方弁  
 出庫方式: 2枚扉開きドア  
 構造: 指定防火設備 (消火設備連動)  
 寸法: 開口 2550 × 高さ 2200  
 仕様: 三方弁 鋼板製: 塗装仕上  
 ドアパネル  
 ・自動車位置案内灯  
 ・自動車誘導ミラー  
 ・運転経路  
 液晶パネル表示部 ・ 入口番号 (空車台数)  
 インフォメーション  
 ・ 呼び番号 (空車台数)  
 ・ 待ち時間 ・ メッセージ  
 ・ CO2ガス充満灯 (消火操作時電報)  
 ・ 出庫警報灯 (黄色回転灯、ボール式)  
 ・ 運転ロック装置  
 安全装置  
 ・ 塔内非常停止 (左右各4ヶ所)  
 ・ 出入口ドア開閉防止センサー  
 ・ 感震装置 (異常発生時、機械を緊急停止)  
 ・ 塔内安全確認用カメラ、モニター  
 ・ ドアミラー折りたたみ忘れ防止センサー  
 冠水対策  
 ビット内の排水金所の水位を検出し、エレベータレームを上昇させます。  
 設計用水平距離  
 ・ パレット落下防止装置 2G仕様  
 ・ カウンターウエイトレール 2G仕様  
 ・ バリアフリー対応 (普通乗用車1台)

注記:  
 1) 鉄骨柱芯から躯体までの寸法は施工上の最小寸法から決めています。  
 2) 立駐の鉄骨は、本体建築物の変形を、中地震時1/200、大地震時1/100として設計しています。立駐の鉄骨は、本体建築物の変形を考慮した変形とする必要があります。変形量の目標値または精算値を連絡願います。  
 3) 本体建築物と各サポートは、防振ゴムを介して接触しています。  
 4) 寒冷地におけるパレット排水仕様を採用した場合、開口柱芯間、開口必要寸法が+50mm必要となります。  
 5) 騒音問題上、立駐機室が居室とならないよう考慮下さい。レイアウト上やむを得ない場合、遮音性の良いボード、2重壁等検討下さい。  
 6) 換気ガラリのそばに、居室の窓が無い様計画下さい。(音漏れ対策)  
 7) 配管等、壁貫通部がある場合、モルタル充填等スキマの処理を十分にお願します。  
 8) 消火配管高さが50m以内となるよう、ポンプ室を計画下さい。  
 9) 消火ガスの排気ダクト、ファンは別途検討下さい。  
 10) 換気ガラリを計画下さい。  
 11) 避圧口を計画して下さい。(※消火ガスがN2の場合)  
 12) 駐車設備前面に入庫車が2台以上待機できる空地をご計画下さい。

- 注記
- ※認定有効期限 2026年7月15日(有効期限5年)  
 認定番号の更新があった場合は、認定番号(認定書)を差し替え致します。
- 1) 鉄骨柱芯から躯体までの寸法は施工上の最小寸法から決めています。  
 2) 立駐の鉄骨は、本体建築物の変形を、中地震時1/200、大地震時1/100として設計しています。立駐の鉄骨は、本体建築物の変形を考慮した変形とする必要があります。変形量の目標値または精算値を連絡願います。  
 3) 本体建築物と各サポートは、防振ゴムを介して接触しています。  
 4) 寒冷地におけるパレット排水仕様を採用した場合、開口柱芯間、開口必要寸法が+50mm必要となります。  
 5) 騒音問題上、立駐機室が居室とならないよう考慮下さい。レイアウト上やむを得ない場合、遮音性の良いボード、2重壁等検討下さい。  
 6) 換気ガラリのそばに、居室の窓が無い様計画下さい。(音漏れ対策)  
 7) 配管等、壁貫通部がある場合、モルタル充填等スキマの処理を十分にお願します。  
 8) 消火配管高さが50m以内となるよう、ポンプ室を計画下さい。  
 9) 消火ガスの排気ダクト、ファンは別途検討下さい。  
 10) 換気ガラリを計画下さい。  
 11) 避圧口を計画して下さい。(※消火ガスがN2の場合)  
 12) 駐車設備前面に入庫車が2台以上待機できる空地をご計画下さい。